

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
聖路加国際病院 アレルギー膠原病科 澤田 治紀

【研究責任者】

聖路加国際病院 アレルギー膠原病科 澤田 治紀

関節リウマチの方を対象としたアバタセプトに関する研究

1.研究の対象

2010年2月から2017年6月まで、関節リウマチで新規にアバタセプトを使用した方。

2.研究の目的・方法

・関節リウマチの方に生物学的製剤はその活動性を抑制するために使用されます。アバタセプトはその他の生物学的製剤と比較し、その効果が遅い傾向にあり、効果発現する前に中止となってしまう場合があると考えられます。アバタセプトの開始時にメチルプレドニゾロンを同時使用することでアバタセプトの継続率が改善していれば関節リウマチの治療に役立つと考えられたため調査をします。

・アバタセプト開始時にメチルプレドニゾロンを同時に使用した場合とそうでない場合の24週後の継続率が高いかどうかを調査します。

・なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

・主なデータ項目は以下となります。

病歴、年齢、体重、併用薬、血液検査（CRP、ESR、HbA1c、MMP-3）、併存疾患等